

刊夕日一十月九



定価 一部全紙五銭 五拾銭 郵費五銭  
 廣告料 五銭 十二字 一行 金五拾銭  
 日曜祭日の翌日休刊  
 発行所 常盤新新聞社 平白銀町三丁目  
 印刷所 常盤印刷株式会社 平白銀町三丁目

笑いについて

…漫画教育私見…  
 磐前 半五郎

子供が雑誌を買つてます。第一にめくつて見るのは漫画の頁であります。雑誌を買へない比較的下層階級の家庭の子供は、お八ッに貰つた一銭の小遣ひで、豆漫画本を買つて満足してゐます。新聞の朝刊が来ると、子供のページを畳の上にひろげて連載漫画の續きにかぢりつきます。活動館でもノラクロやミツキーマウスのフィルムになると、小さな観覧者たちからわつと拍手喝采が起ります。ラヂオでも漫画劇となると大もてです。

民であります。非常な深刻な表情で日常を送ることは一見、真面目さうで結構なことでありますが、もし、笑ひながら真面目に生活が出来るとしたら、これこそわれわれの理想の生活ではないでせうか。

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
 〇明日の献立〇  
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】味噌汁：若芽 小付 どんぶ  
 【晝】ラードやき 鱈 小井 ちやが芋 粉ふき

【晩】深川煮 蛤 葱 味噌煮 焼切代り(なす 九やき 花かつを)

泣くことを笑つてます。―― ことが出来ればこんな幸福なことはありません。

このやうに、今や漫画は子供の世界の大人氣者となつてゐるのであります。これは、われわれ、マンガの仕事に携はつてゐる者にとつては誠に喜ばしい現象でありまして、今後更にこのマンガを、子供の生活の中に擴充し浸潤させて行きたいと思つてゐる次第であります。と申し上げるのは、わが國民は、昔から『笑ひ』の少い國民であり、殊に『明朗な笑ひ』を忘れてゐる國

書でなければならぬわけだ。『マンガ教育』の根本も、實にこゝに存する次第であります。この見地から、二、三マンガ教育の具體的要領を申し上げます。

美味！ 芳醇！  
 宗正らひた

山崎合名會社  
 電話一〇番

上田病院  
 平町 南町  
 電話二二九番

諸機械製作販賣

合名 田邊製作所  
 平白銀町(驛前通)  
 電話二九四番

機械切各種齒車製作



玉屋洋品店  
 平町田町通 電話六五六番

喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお奨め致します

喜多流 謠曲 仕舞 白土會  
 平町田町六九  
 電話二二七番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠  
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
 平町田町 電話五二三番  
 内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

御知らせ

防虫劑

玉ナフタリン

片手一杯ツカミ取進上  
 開店三十週年記念謝恩デー大好評を博しましたにつき引續き毎月十五日を謝恩デーと定め御買上金五拾錢以上の御客様に玉ナフタリンを差上ります  
 アセモタリンに妙薬トフメルを無料でつけて上ります  
 平町古鍛冶町縣社の下  
 藥と相談所 阿康藥局  
 電話 四四番  
 振替口座 東京三〇六五

外科一般 レントゲン科 内臓外科

北川外科

平町新川町二七(諸橋醫院跡)  
 醫學博士 北川 芳夫  
 小川 良次  
 電話四六四番  
 (血液検査毎日) イツデモ入院出来マス

護れ//大空  
 防空//防空

眞の防空は……  
 優秀なる飛行機の製作にありませう  
 優秀なる飛行機の製作は……  
 模型飛行機の研究から！

作りませう模型飛行機を！  
 國の護りの研究に！  
 模型飛行機の材料なら何でも揃つて居ります。小學生の手工や研究用として説明書付一組金十錢のセットも出来て居ります。  
 平町前 いづみや玩具店

### 防空思想普及

#### 記念スタンプ

##### 平局で目下取扱中

平局では今次縣下防空演習舉行に際し之を記念し且國防思想普及の爲め十日より三日間本縣略圖を外廓として飛行機高射砲、及探照燈を掲げた圖案文字入通信日附印を使用することになつたが利用方法は料金完納の有封並に郵便繪葉書であるが記念その他の目的を以つて一錢五厘以上の切手を貼附したるものにも消印すると

### 小名實業校

#### 鯉節製造

##### 各種水産加工試みる

花鯉節を縣下各學校關係へ發送して好評を博した小名濱實業學校では過般より節製造を開始見事な鯉節百本を仕上げたが更に鯛の大和煮鯉節詰を製造することに

### 「健兒行」の感激 (四)

川崎生

此の食意地の張つた大きな子供達を、指導員が眼も鼻も離せないのか、後から後からと、指揮命令が相次ぎ、實習生は全く「暇」といふものを奪はれて終ふ。吾々の平常の生活は「三遍廻つて煙草にしよう」と、忙しい間にも閑を見出す

品指定會議に提出された本郡大野村大字薬王寺の舍利塔は見事本會議を通過重要美術品と決定され近く官報で告示されることになつた由

### 重要美術品

##### 過般來文務省に開かれた重要美術

### 工費二十九萬圓で

#### 愈々江名港改修

##### 十五日盛大に起工式舉行

(既報)縣下唯一の内務省指定港である江名漁港は縣費支辨で東北振興事業として總工費二十九萬圓を以て五ヶ年繼續で改修工事をなす事となり過般四倉築港事務所長關根氏が所長兼務を命ぜられそれ／＼準備を進めてゐたがいよいよ十五日午前十時から漁業組合事務所前において盛大なる起工式

### 磐女のバザール

##### 磐女は来る十月二十四

に努めるのが普通の姿だ、然るに實習所の生活は「暇」を如何に有用化さうかとする修道であるから、呑氣に煙草や雜誌に時を過す「暇」がない。例へば何かの行事が終つて一休みといふ時「此處で十分間休憩します、煙草を吸つてもよろしい」と宣言される、ホットしてマッチを磨れば、今度は唱歌指導の所員が現れて「煙草を吸つて居ても、唱歌は歌ひるだらう」と唱歌の猛訓練だ。勞作に轉換あり、氣分に變化があるのだから、手足をのろ／＼伸して休まなくて結構體は續く譯なのだ、個人の自由はピンからキリ迄、殆んど束縛されて終ふので、常に氣儘な生活に身を置く者には耐えられぬ苦痛で、顔見合せて青息吐息だ。

### 人絹會社復興で

#### 大量の職工募集

##### 各方面に素晴らしい景氣來

五の兩日開催する事になり目下準備を進めてゐるが同校陸上運動會と相俟つて人氣を博すものと思れる

錦村昭和人絹工場復興工事は此の程殆んど完成の域に達し六十四臺の紡糸機も目下九分通り運轉され全能力日産十七噸もいよいよ目下迫つたので過般來男女工員約一千名の募集をなしてゐたが更に姉妹工場である茨城縣高萩工場も十一月迄には竣工操業を開始する豫定なのでそれ迄に錦工場に於て熟練工を相當に養成該工場に振向ける管で更に今回男子八百、女子四百、計一千二百名の大募集をなす事となつた申込を受けた平、湯本の地元をはじめ縣下は勿論各縣の職業紹介所では各方面の事業勃興と共に相當求人申込はあるが未だ求職者を完全に消化し得ないので求人開拓に努めて

### 中等庭球延期

平商庭球部が出場する水高主催の關東北中等學校庭球大会は明後十三日開催される管であつたが都合に依り來る二十日に延期された由

### 石教員會

石城教員會は昨十日午後一時から平第一校に役員會を開き今秋の行事に關し種々協議したが決定された主なる行事は左の如くである

- △九月十三日郡下兒童籠球大會(平第一校)
- △十月四日濱三郡下兒童籠球大會(同)

### 球大會(同)

利く、僕の様な横着者は、實際を自覚すると家に在つて家内から「ラヂオ體操もいゝには違ひないが、その暇にお室のふき掃除でもやつて見なさいよ、横のものをつて見なさいよ、横のものをつて見なさいよ」とケラ／＼笑ひの高調子で、隣り近所をふれ廻つて居る様子を見ると、満更オゲテモッコに乗せる氣ばかりではないらしい(續く)

### 平職界の所報告

- △十一月八日東部聯合教育總集會(同)
- △十一月二十二日石城、多賀兩郡下教員對抗陸上競技大會(警中)
- △倉働 一六四〇才迄 給七圓
- △賣子 三十才位 給二割
- △出前持 二十三才迄 給五圓
- △職を求め方
- △トラック助手 二十三才 尋卒
- △同 十九才 高卒

### 大野球戰

#### 奉天實業對 日立鑛山軍

期日 九月十八日午後二時  
場所 磐城中學球場  
主催 福島民報社  
後援 平町役場  
磐陽野球審判協會

### 會員券

左記個所で發賣  
△三丁目五丁目△四丁目マートモ運具店△田町大塚運動具店△大床理髮店△福島民報平支局△南町佐藤自動車工場△播磨小路魁文堂書店△仲町双葉活版所△紺屋町扇屋酒店

私は平町出生ですから特に郷里の皆様方の爲めに御便宜を圖ります  
主人 比佐棟雄

吉田眼科醫院  
平紺屋町 電話 六八番  
●學士 吉田久雄

# 今日ぞ、空の護り！

## 試練の日は遂に來た

### 絢爛壯絶の大繪巻を展開

「某國との國交は斷絶せり」の想定の下に本十一日午前八時全縣下に跨る廣汎な地域の防空演習の火蓋は切られた今日ぞ百六十萬縣民の全神經は大空に向けられ、空の敵撃滅の意氣物凄く今や全縣民の防空意識は頂天に達し、日頃の訓練は如何に奏効するか？ 非常時日本國民の試金石となる絢爛の大防空繪巻は繰り廣げられ宛然然戦時氣分を漲らせてゐる

### 敵機空襲下の平町

#### 壯烈な防禦戰展開

一週間に亘る猛訓練を行つて待期した防空演習は愈々開始された、田中小尉の指揮する一個小隊の演三郡監視哨本部を平警察署内に設置された平町では本十一日午前七時歩兵第二十九聯隊から派遣された地區防衛隊と共に防護團員、各婦人團體、少年團員等千五百五十名を動員して夫々警戒配備、飛來する敵機に備へて同八時演習開始と同時に各班活動な活動に入り目覺しき統制下に全くの戰時氣分を横溢、柴崎軍曹指揮の一個小隊が平局屋上に備へられた近代化學の粹を誇る高射機關銃二臺を以つて「敵機來れ」の意氣に燃え又同町二町目常陽銀行樓上に据へ付けた輕機關銃二臺は青年訓練生の手に依つて待期更に夜に入れば訓練に「された防空陣を全町に張つて登

#### 各團體の活動

平町の各婦人團體愛婦、國婦、愛處、女青の演習參加者は配給調理部に七十名、救護班三十名が配屬活動中  
× × ×  
平少年團員百十七名は川崎團長指揮の下に救護班並に交通班に参加目覺しい活躍振りを見せてゐる

#### 演習狀況視察

東部防衛司令部演習工兵大尉並に縣統管部の黒石中佐は平町一帶狀況視察に來平

#### 水野起訴收容

既報警城無盡會社矢吹支店に勤

#### 温情の教化に叛き

##### 前外者に惡の誘惑

###### 捕はれて後悔の涙

川前村生れ當時棚倉町仁公儀小針キヨ方同居前科九犯高橋義勝(三)は今春五月宮城刑務所を出所し獄中で知り合つた前科十三犯の老賊岩本米藏(六)の前記留守宅に轉り込み徒食してゐるのを知つた棚倉署伊藤德藏刑事は彼を改悛さすべく警察の餘暇には訪れて何くれとなく面倒を見て眞人間に轉向を誓はせ残るは彼の生業指物大工に必要な道具類をはじめ材料の一部を買與へ時には米、味噌、足袋、衣類等まで人知れず給與し親

明日のフタオ  
十二日  
報豫氣天  
今晩も明日も南  
東の風暴

#### 今晩の部

- 後六、〇〇 ムドモ演藝會
- 澤田和雄 常盤昌志遠
- 藤香子他
- 後六、二五 講演「平田篤胤とその國學者として研究精神」一岡澤鉦治
- 後七、二〇 講演「滿洲移民に就て」永田拓務大臣
- 後八、〇〇 室内樂一シニ
- 務中掛金約千五百圓を横領費消した西白河郡矢吹町宇小山一二水野義雄(三)は今日一件書類と共に送檢され氏家檢察の取調べを受けたが直ちに業務上横領罪として起訴平刑務所に收容された

#### 乃木將軍を偲ぶ

##### 講演會開催

###### 夫々各校で催す

平第一、第二、第三の各小學校は來る十三日の乃木祭は日曜に當るので前日の明日午後一時から各校長の將軍に關する講演會を催し在し日の前影を偲ぶ事になつたが第二校はこれに因んだ小學藝會を催す外各學年の將軍に關する研究發表がある由

#### 貯金魔を

##### 檢事取調

既報インキ會社を設け日掛貯金約二萬圓を横領平署に檢舉された平町大町一徳合資會社平支部長白石隆雄(六)は此程二行李に餘る證據品と約三千枚に綴られた調書と共に平檢事局に送られたが氏家檢察の取調べを受け豫審に廻される模様で

#### 依頼されて

##### 他に轉賣

###### 行方を晦ます

四倉町本町機械商龍岡龍男(三)は去る七月中に石川郡小平村精米業某方の發動機修繕方を依頼されたのを奇貨とし修繕の後該機械を耶麻郡川桁某精米所に販賣したことが判明し被害者が六日四倉署に出頭し契約最初からの願末を薄葉署長の取調に對し陳情告訴したが本人の所在不明の爲め行方につき嚴重捜査中である

#### 搜索願二件

##### 西白河郡示吹町大字中新田

德治長男齊藤勝男(三)は本年一月以來内郷村大字綴磐城炭礦礦に出稼ぎ去る四月徴兵検査で歸郷、再び出稼ぎに出たまゝ行方不明となつたが最近東京市陸軍々醫學校内衛生調査班から實家宛照會あつたので實家の徳次さんから事公用に關す

#### 詐欺漢に

##### 即決求刑

既報去る五日小名濱町字中林坪料理店松屋事坂林ナカ方で十二圓五十錢の無錢飲食をなし突出された同町字竹町小野修方前科二犯小澤吉(三)に係る詐欺事件の公判は今日午前十時から平區で中島判事係り氏家檢事立會の下に開廷檢事から懲役八ヶ月を求刑されたが判事から即決求刑通り言渡された

報番組豫告  
明日の音  
前六、三〇 速成ドイツ語講座 登張信一郎  
前七、〇〇 朝の修養「立正安國論」守屋貫教  
前八、〇〇 婦人講座「ベルリンのオリムピックを見て」藤村トヨ  
後〇、〇五 輕音楽「ゴトウ・ダンス・アンソング」關種子他(桃谷中繼)  
後一、〇〇 六大學野球リーグ戦(第一日)神宮球場中繼  
後二、〇〇 家庭講座「秋の草花の挿し方」小原光雲  
後六、〇〇 物語「菅原道直」福岡放送童話研究會  
後六、二五 農家の時間「最近に於ける蔬菜の栽培と需要の動き」高龜格三  
後七、三〇 舞臺劇「戀女房染分手綱」中村梅玉他(歌舞伎座中繼)  
後八、三〇 黒川能 上野丹宮他  
後九、〇〇 時事解説「スペインの動亂を繞りて」芦田均  
重なることすからと平署に捜査方願ひ出た  
茨城縣多賀郡日立町宇久保田居住赤井村大字赤井生れ矢野勇(三)は去る月廿一日午前十時頃懷妊中の妻イサ(三)と五才と三才の二兒を残して家出、捜査中とのところ風評に依れば福岡縣大川町生れ額面行商人添島綱夫と稱する者外一名と平方面に來た形跡あり、殘された妻イサさんは身重に二兒を抱ひて生活苦に困却して居りますからと本日平署宛捜査方願ひ出た





二二〇 おさよ出奔

天爵の細君は右内の話を聞いてこれも右内と同じやうにおさよの顔をチラリと見たが、これは意味は異にしてゐますが結果は同じこととす、奸智にかけた右内先生の細君をうごかして目的を遂げやうと、これから大層天爵夫婦を大事にして親切をつくしおさよを生捕らうとする、敵は本能寺にありとは知らぬ天爵の細君は右内を信用しました、もうよからうと右内は已の意中を細君にもらしておさよ様をくださることはなるまいかと談じた、もとより右内を信じてゐることゝてそれを天爵に話して承知させ、おさよを説きつけた、かうなつてはおさよも厳しく断ることはできない、父が恩を受けてゐた右内の許へ行くは厭でございませうとも云へず、去りとして末長く添遂げませうとも云へず、何うしたのかとこの事について苦勞する、親は羞かしさにはかゝしく答へぬものであらうと察し先づは目出度いと喜んだ、それを聞いて右内は計策こゝに的中して有難いと飛び上つた、

アおさよは心配して、どうしてこれをのがれたものかとその手段に付いて小さな胸をいためてゐる、ところへ長崎より戻つて来た柳清四郎、おさよは喜び、人な



き折を見てこのことを告げどうぞ柳さん私を助けてくださいとすがられて清四郎が

清「それは意外の樁事、しかし私も部屋住みの身として返すことはなりません」

おさよ「何うぞ私をつれて逃げてくださいますし、こゝに居りますとあの友川の毒手

にかゝります、両親にはすまぬことゝは存じますが、あなたがお歸りなされた上はもう一刻もこゝには居られませぬ」

清「さうですか、それではすぐに立ち退きませう、先生及び友川の居らぬが幸ひこの間に早く」

とそこで二人は支度もそこゝ手を取つて京都を立ち退いた、しばらくして戻つて来た右内、おさよが見えぬからどこへ行つたかと女中と僕にたづねたがどこへ行つたところへる者

まはつてゐる、針の狂ひし磁器の如く少しも方角がさだまらぬ、あてもなく尋ねるもおろかなことゝ、天爵のもとに引返して、これから何處へ二人で逃げたかとそれについて相談した、時に天爵が

天「友川まことに前には氣の毒であるが、おさよのことは無き縁とあきらめて下さい、俺ももうあれを子とは思はぬ」

言はれて右内が

右「さりとて柳は怪しからぬ奴です、影を履んでもその恩義にそむくと云ふ師の娘と通じ、その上に手をたづさへて走るとは不屈き至極、二人は柳の在勢州桑名に参つたことゝ思ひます然し實家に居ることはなるまいが、知己のものゝしひ居ることゝ存じます、よつてこれは柳の父に嚴談いたして實家の手に依つて二人をとらへさせたが良策かと存じます」

天「イヤそれは捨ておくがよい、このやうなことを柳の實家に知らせると我家の不取締を吹聴いたすやうなもの、人の教育の任にある儒者の家よりあの様な不孝な娘と背徳の門人をだしたは恥辱である、よつてこれは捨ておくがよい」

右「左様にございませうか……」

と申したが、右内は悪い奴だけに何事も悪い方に引きつけて考へる、これがため大事に引起すことにもなる」

●記念!!!  
開業七週年  
正價一割引特賣  
五圓以上御買上の方に  
は景品を差上げます

計時  
高橋時計店  
平町二丁目  
●小役員募集委細面談。

木村病院  
平町新川町十九  
電話一六四番

安齊外科醫院  
平町・田町  
電話四七五番

九ミリ半  
ポニイ  
小型活動寫真機

◇改良された前進號  
撮影機 ¥ 25.00  
映寫機 ¥ 24.00

(カタログ進呈)

平二・電三  
西村屋藥局カメラ部

花柳病科 専門  
木村外科醫院  
電話三〇九番  
平町六丁目橋際  
自炊入院の便あり

三井タクシー  
平二 電六八五番

味美 鱧節  
當店特製  
魚問屋  
榮盛賀志  
番三一二話電 目丁四平